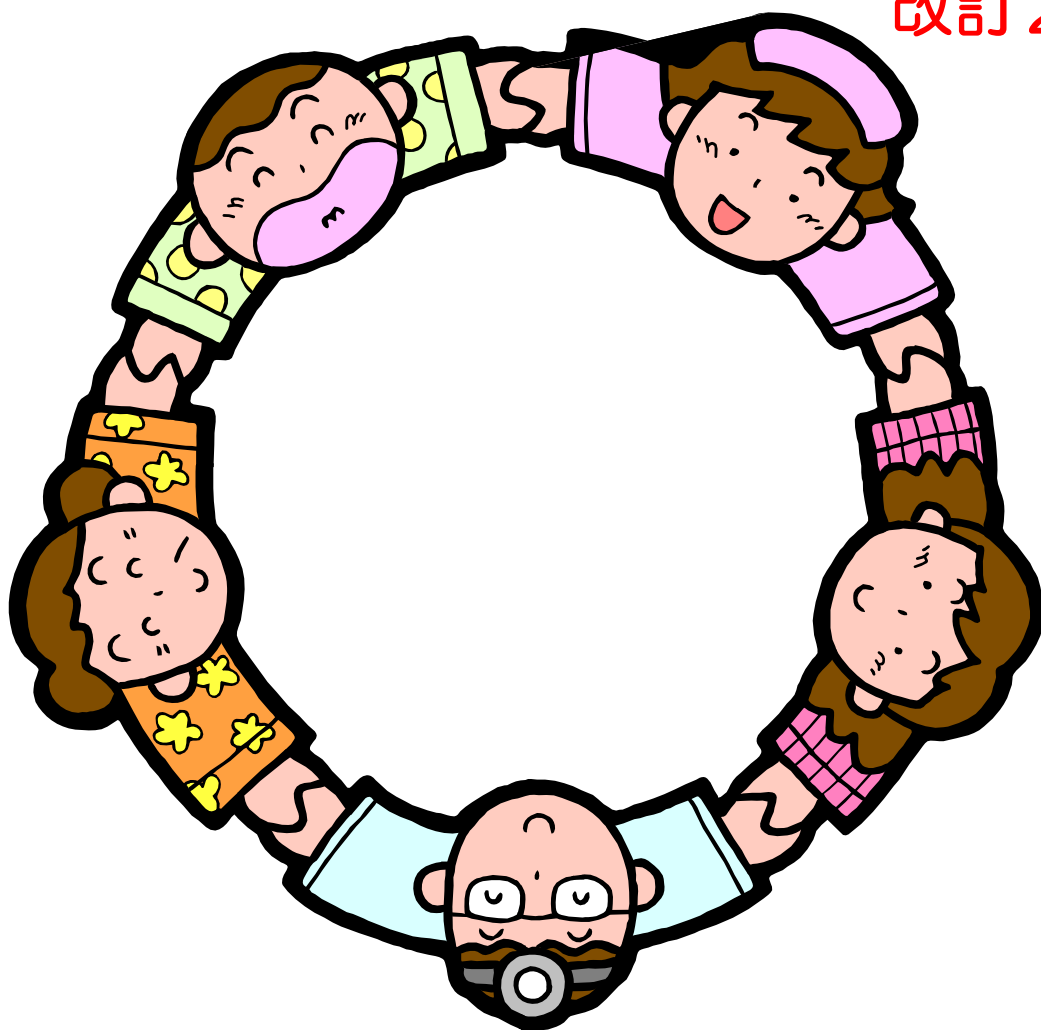


肺がん地域連携パス

「肺がん術後経過観察」連携パス

改訂2版



市立東大阪医療センター



大阪府がん診療連携協議会

はじめに

【連携パス】とは、あなたと地域の連携医（かかりつけ医）とがん治療の拠点病院の医師が、あなたの治療経過を共有できる「連携診療計画表」のことです。「連携パス」を活用し、かかりつけ医と拠点病院（市立東大阪医療センター）の医師が協力して、あなたの治療を行います。

病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は市立東大阪医療センターが行いますので、ちょっとしたケガや日常の相談は、まずかかりつけ医にご相談ください。必要に応じて市立東大阪医療センターを受診していただきます。また、**緊急を要する場合で休日や夜間等に連携医（かかりつけ医）を受診できない場合は、市立東大阪医療センター（06-6781-5101代表）までご連絡ください。**

この「連携パス」を活用することで、市立東大阪医療センターと地域の連携医（かかりつけ医）とが協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。また、患者さんにとっても長い待ち時間や通院時間の短縮などの負担軽減や、ご自身の治療計画や経過の把握、かかりつけ医の手厚い診療による不安の解消といったメリットにもつながります。



もくじ

退院後の日常生活 【 p.3~p.8 】

退院後もこれだけは忘れずに！
【 p.9~p.10 】

あなたが受けた手術について 【 p.11 】

「肺がん術後経過観察」連携パス・検査値
貼布スペース
【 p.12~p.13 】

メモ 【 p.14 】

市立東大阪医療センターの各部署・担当等
のご案内
【 p.15~p.16 】



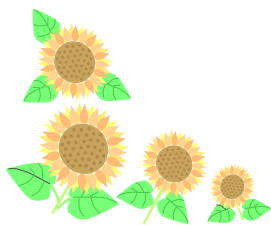
退院後の日常生活



退院おめでとうございます！

手術後まだ症状が残っている方もありますが、次第にその症状も回復してきます。

特に胸部の痛み（神経痛のような又は圧迫されるような痛み）は半年～1年位続くことがあります。しかし、人によっては程度の違いはありますが、通常軽快していきますので安心してください。ご家庭に帰られてからは、次のことに注意して下さい。





退院後の日常生活

1. 日常生活

規則正しい生活を心がけましょう。

2. 運動

(ヶ月)より始めて下さい。最初に始める運動は散歩やウォーキングからにしましょう。

仕事への復帰やはげしい運動(テニス・ゴルフ・ジョギングなど)は主治医との相談が必要です。

退院時に目安となるパンフレットをお渡しします。

それに加え外来時にその都度相談しましょう。

退院後の日常生活



3. 作 業

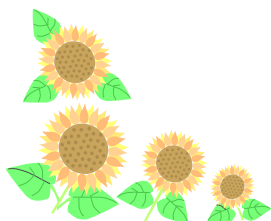
(ヶ月)位より軽労作業に従事できるようになりますが、復職については主治医と相談してください。

4. 睡 眠

一日約6～8時間取るようにして下さい。

5. 禁 煙

タバコは今後の経過に支障があります。
このまま禁煙を続けて下さい。



退院後の日常生活



6. 清潔

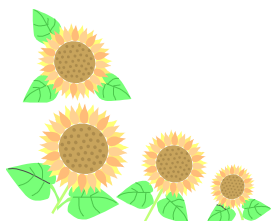
チューブが入っていたところの抜糸は退院後の外来になることがあります。

退院前日に抜糸が終了していない方は主治医もしくは看護師に退院後のシャワー浴とガーゼ交換について相談して下さい。

(テープの交換だけで消毒が不要な場合もあります。)

絆創膏交換の必要物品

防水の絆創膏・消毒薬・滅菌綿棒
など



退院後の日常生活

絆創膏交換の方法

1. 防水絆創膏をはがし傷口の観察をしてください。
2. 消毒液に滅菌綿棒をつけます。
3. 傷口の真ん中から外側に円を描くように消毒をします。
4. 消毒液が乾燥してから新しい防水テープを貼ります。
 - ・使用した滅菌綿棒を消毒液につけないようにしましょう。2度漬け禁止です！
 - ・傷口に赤み・腫れ・ほてり・膿が出るなどの症状があれば、外来で医師に相談して下さい。

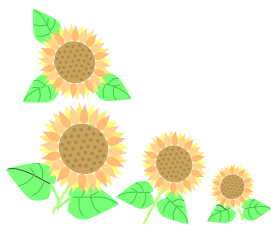
傷口やチューブが入っていたところのかさぶたは自然にはがれるのを待ちましょう。

退院後の日常生活



7. その他

- 1) 風邪を引かないように十分注意して、外出より帰宅時はうがいをしましょう。
- 2) 高カロリー、高蛋白でバランスのよい食事を取りましょう。
- 3) 衣服は深呼吸が十分できるように胸やお腹をしめつけないものにしましょう。
- 4) 痛みのある方は傷を冷やさないようにして下さい。
入浴や温湿布は痛みに対して有効です。



退院後もこれだけは忘れずに！

☆ 定期的な診察や検査に行きましょう

手術後5年を目途に、定期的な診察や検査を行います。診察や検査の間隔は、手術後の状態によって異なりますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、**定期検査は肺がんを対象としているものです。他の病気をカバーするものではありません。**



定期的な診察や
検査を

☆ 毎月1回、自己検診を続けましょう

どんな病気でも早期に発見して、早期に治療することが大切です。毎月1回、日を決めて、ご自分で症状をチェックしてください。気になるところがあったら、主治医に相談してください。



指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、手術後の状態を安定させるためや手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用してください。

副作用がある場合には、医師に申し出てください。



悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師さんとのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、明るく、希望を持って前進し、病気をしてかえって良かったと思われるような建設的な生活を送ってください。



～ メモ ～

【あなたが手術を受けた日】

平成 年 月 日

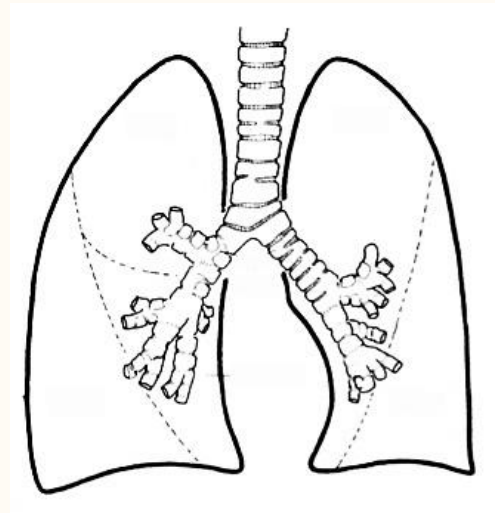
【診断について】

- 1、非小細胞肺癌
- 2、組織型:
- 3、進行度(病理病期): Stage I でした。

T: N: M:

【受けた手術】

- 肺部分切除術
- 肺区域切除術
- 肺葉切除術
- リンパ郭清術



【説明確認事項】

- 術後連携について

地域連携パス(連携診療計画表)による連携診療
および連携医(かかりつけ医)の説明

- 「私のカルテ」について
- 服薬指導

※ 退院にあたって、薬剤の処方がある場合は薬剤師から
服薬指導、服薬記録の説明を行います。

よくお聞き頂いて、理解できない場合はお気軽に
ご質問ください。



「肺がん術後経過観察」連携パス：連携診療計画表 (手術後～2年6ヶ月)

患者様への説明後、
チェックして下さい。



**連携・連絡
(退院時まで)**

術後連携の説明
手術後後遺症・再発等
発生時の連絡先

患者様用パス説明
 確認の実施

○は必須項目

術後	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年 3ヶ月	1年 6ヶ月	1年 9ヶ月	2年	2年 3ヶ月	2年 6ヶ月
施設	病院	かかりつけ医	病院	病院	かかりつけ医	病院	かかりつけ医	病院	かかりつけ医	病院	かかりつけ医	病院
受診日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
診察	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
血液検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
腫瘍マーカー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画像検査	胸部X線											
	胸部CT			(○)	○		○		○		○	
	腹部CT											
	脳MRI			(○)	(○)		(○)		(○)		(○)	
目標	がんの再発がない											
	QOLが維持できている											
自覚症状	息苦しさがある											
	咳が出る											
	血が混じった痰がある											
	体重											
	発熱											
	その他											



内はあなたにご記入いただきます。
気になる自己診断項目を記録し、医師に相談しましょう

～メモ～



「肺がん術後経過観察」連携パス：連携診療計画表 (2年6ヶ月～5年)

術後		2年 9ヶ月	3年	3年 3ヶ月	3年 6ヶ月	3年 9ヶ月	4年	4年 3ヶ月	4年 6ヶ月	4年 9ヶ月	5年
施設		かかりつけ医	病院	かかりつけ医	病院	かかりつけ医	病院	かかりつけ医	病院	かかりつけ医	病院
受診日		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
診察		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
血液検査		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
腫瘍マーカー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画像検査	胸部X線										
	胸部CT		○		○		○		○		○
	腹部CT										
	脳MRI		(○)		(○)		(○)		(○)		(○)
目標	がんの再発がない										
	QOLが維持できている										
自覚症状	息苦しさがある										
	咳が出る										
	血が混じった痰がある										
	体重										
	発熱										
	その他										

内はあなたにご記入いただきます。

気になる自己診断項目を記録し、医師に相談しましょう

～メモ～



～メモ～

・
・
・
・
・
・
・
・

市立東大阪医療センターの各部署のご案内

市立東大阪医療センターでは各診療科が単独でがん診療を行うのではなく、院内であるいは院外においても連携協力しながら、チーム医療を行っています。このチームの輪を地域にまで広げて地域で治す医療をすすめています。

地域医療連携室

患者さんに安心して医療を受けていただくために、地域の医療・福祉・保健行政機関と当院とのスムーズな連絡連携の窓口としての役割を果たしています。また患者さんへの窓口として、連携の中心的な機能をします。

窓口開設時間：月曜～金曜 午前9時～午後5時

TEL：06-6781-5101（代表）（休日を除く）

FAX：06-6782-5610（全日受信可能）

医療相談室

患者さんが安心感と信頼感を持って療養に専念していただけるように医療相談窓口を開設しています。地域の医療機関やケアマネージャー等と連携をとりながら、患者さんやご家族がより良い療養生活を送っていただけるように支援します。医療費の問題、退院後の生活支援、社会資源の活用法などについての相談もお受けします。

窓口開設時間：月曜～金曜 午前9時～午後5時

（受付は午後4時30分まで）

TEL：06-6781-5101（代表）（休日を除く）

がん相談支援センター

がん診療連携拠点病院として、がんに関するあらゆる相談（がん検診、がん情報、症状相談、心理相談、緩和ケア、セカンドオピニオン、ブレストケア、ストマケアなど）をお受けしています。がんに関する困ったことはなんでも遠慮なくお話ししてください。

窓口開設時間：月曜～金曜 午前9時～午後5時

（受付は午後4時30分まで）

TEL：06-6783-3466（がん相談直通）（休日を除く）

予約外受診/夜間・休日などの対応

緊急時や夜間・休日など、かかりつけ医を受診できないときは、予約外診療も受け付けています。受診の際は、救急外来や各診療科窓口受付までお問い合わせ下さい。

TEL : 06-6781-5101 (代表)

外来化学療法センター

多くの化学療法が入院ではなく、日常生活を続けながら外来通院で受けられるようになりました。専門の薬剤師が調剤し、看護師がセルフケア支援に重点をおいて指導しています。化学療法中の困った症状についてもご相談ください。

緩和ケアチーム

緩和ケアチームは、悪性腫瘍に伴う痛み（身体的、精神的、社会的）やさまざまな症状に苦しむ患者さんとご家族に対して、専門の医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、栄養士などがチームとなって協力して、症状を緩和し、苦痛を和らげる方法を考えます。実際に症状が起こる早期の段階から、患者さんや家族に病状を説明し患者さんと一緒になって療養生活の質の向上をはかります。緩和ケアは終末期のみにおこなわれるものではなく、がんの初期治療の開始から同時に勧められるべき医療で、患者さんやご家族の状態が改善されれば病院を離れて、再びおうちでの日常生活を過ごしていただくためのものです。

病診連携、検査の予約窓口 (医療機関専用)

診療所の先生方には直接に内視鏡室に検査予約を取っていただけます。

内視鏡受付 FAX : 06-6787-2542

地域医療連携室 FAX : 06-6782-5610

(診察・放射線検査等)



市立東大阪医療センター

あなたのお名前

さん

かかりつけ医

(電話 — —)

病院

科

電話

— —

(代表)

平成28年10月